



きらきら Eye ランド

JA 庄内みどり

安全・安心をお届けいたします

グリーンプロジェクト情報 第8号

発行：庄内みどり農業協同組合
協力：酒田農業技術普及課

生育に合わせた中干しを！ 適期・適量の穂肥が増収のカギ！

6月30日現在、草丈は葉伸び等の影響により長めで推移していましたが平年並みに落ち着き、茎数はやや少ないものの目標茎数は確保されています。また葉齢は概ね平年並みに進展し、葉色は平年並み～やや濃くなっています。

圃場により生育のバラつきがあるため、穂肥時期・施肥量を判断するには稲の生育を正確に診断・把握することが重要です。

また、これからは葉いもちや斑点米カメムシ類、大豆では食葉性害虫やアブラムシ等が発生する時期となります。草刈りの徹底を図り、病虫害発生の未然防止に心がけましょう。

◎現在の生育状況（6月30日現在の作柄診断圃データ）（ ）内は平年対比

品 種	草 丈	茎 数	葉 齢	葉色 (SPAD)
は え ぬ き	49.0 cm (108)	602 本/m ² (91)	9.1 (-0.2)	41.5 (+0.7)
ひとめぼれ	52.5 cm (108)	579 本/m ² (105)	9.4 (+0.2)	39.5 (-1.1)
つ や 姫	45.9 cm (99)	513 本/m ² (92)	8.8 (-0.4)	41.6 (-1.1)

◎6月30日現在の土壌アンモニウム態窒素残存量

土壌残存アンモニウム態窒素は、作溝・中干しの効果によって概ね1 mg/100g 乾土程度となっており、稲の生育量に伴って低下してきています。

今年の葉齢の進展は平年並みとなっております。今後の穂肥作業は生育診断に基づき、遅れずに行いましょう。

技、其の一 作溝・中干しの徹底を！

今年は定期的な降雨により、中干しが不十分な圃場が見受けられます。暗渠排水を利用し、穂肥までにはぬからない程度となるよう、中干しの徹底が重要です。ただし、目標茎数を確保できていない場合は足跡がつく程度（弱め）にとどめましょう。

幼穂形成期から穂揃期にかけては水分と酸素を最も多く必要とします。中干し後は、走り水により徐々に慣らし、出穂前まで間断灌水（2日湛水2日落水）を続けましょう。用水不足時の対応と間断灌水を効率的に行なう為にも、仕上げ作溝は早期に行いましょう。

技、其の二 カメムシ対策はこまめな草刈りで！

カメムシ類の増殖を抑えるため「こまめな草刈り」を徹底し、密度低減を図ることが重要です。草刈りは8月上旬の無人ヘリ防除の直前までに終わるようにしましょう。その後、8月中の草刈りは行わないようにしましょう。

☆葉いもちの発生に注意！！

6月中旬に葉いもち感染好適日がありました。今後の天候によっては急激に拡大する恐れがありますので、葉色が濃いところや、昨年発生した圃場を中心に注意深く観察しましょう。

技、其の三 予想出穂期(7月1日現在)

☆今年の出穂期は、“平年並み”になると予想しています。

どまんなか	ひとめぼれ	はえぬき	コシヒカリ・つや姫
7/29～	8/5～	8/5～	8/11～

技、其の四 穂肥は的確な生育診断で適期に適量を！

穂肥ができる稲の条件は①葉色がさめている②葉伸びしていない③茎数がすっきりしていることです。（下表参考） ※(1.0)：穂肥施用後に葉色が維持できない場合は実施する。

品 種	葉色	草丈 (cm)	茎 数 (本/m ²)	穂肥対応 (N成分kg/10a)					
				-30日	-25日	-20日	-18日	-15日	-10日
はえぬき	4.8	60	630以下		2.0		(1.0)		
はえぬき(低地力)				2.0		1.0~1.5			
ひとめぼれ	4.5	60以下	630以下			1.5			(1.0)
ササニシキ	4.3	60以下	650以下				1.2		(1.0)
どまんなか	4.5	63以下	630以下		2.0				
コシヒカリ	4.0	78以下	450以下					1.5	
つや姫	4.8	60	550以下	1.5		みどり特栽培穂肥028号			
					1.2	庄内穂肥専用545, NK50号 らくらく522			

葉色板(フジカラースケール)と葉緑素計 (SPAD) の換算値 (目安)

{(SPAD値)+10} ÷ 10 = 葉色板の値 (例) (38+10) ÷ 10 = 4.8 ← 葉色板の値

技、其の五 葉色が濃い稲への対応！

はえぬき (11.0 葉期) 出穂前25日の葉色	5.0以上⇒ N成分1.0 kg/10aに減肥して施用する。 (4.0以上) ただし葉色5.5以上の場合、穂肥は行わない。
ひとめぼれ (11.5 葉期) 出穂前20日の葉色	4.8以上⇒ 葉色低下を待って対応、ただし出穂前10日に (3.8以上) なっても葉色が濃ければ穂肥は行わない。
ササニシキ (12.0 葉期) 出穂前18日の葉色	4.5以上⇒ 葉色低下を待って対応、ただし出穂前10日に (3.6以上) なっても葉色が濃ければ穂肥は行わない。
つや姫 (10.5 葉期) 出穂前30日の葉色	4.9～5.1⇒ N成分1.0 kg/10aに減肥して施用する。 (3.9～4.1)
	5.2以上⇒ 25日前までに適正葉色まで低下しない場合、 (4.2以上) 穂肥は行わない。(ケイ酸追肥のみ)

技、其の六 倒伏軽減対策！

生育が過剰となり倒伏が懸念される場合には、倒伏軽減剤を使用します。

○ひとめぼれ

稈長82cm以上となり、倒伏が懸念される出穂20日前（11.5葉期）の稲姿

草丈 (cm)	葉色	生育量 (cm×本/m ²)	1株当たり本数 (70株植え)
65	5.0	40,000	30本以上

○ササニシキ

稈長80cm以上となり、倒伏が懸念される出穂18日前（12葉期）の稲姿

草丈 (cm)	葉色	生育量 (cm×本/m ²)	1株当たり本数 (70株植え)
63	4.8	39,000	28本以上

◆使用薬剤

薬剤名	使用時期	散布量	備考
ロミカ粒剤	出穂前25～10日	2～3kg/10a	上位節間伸長抑制
スマレクト粒剤	出穂前20～7日	2～3kg/10a	

※特別栽培米は、倒伏軽減剤及び倒伏軽減剤入り肥料は使用できませんのでご注意ください。
 ※スマレクト粒剤の重複散布や多量散布は、後作物や次年度の作物に影響する場合がありますので使用量に注意しましょう。

<直播情報>

◎湛水直播(鉄コーティング直播)は、中干しの時期に入りました。根張りを良くし、耐倒伏性を高めるため、時期を逃さず実施して下さい。

<大豆情報>

◎降雨時は、こまめに圃場を見回り、早期に明渠の手直しなどを実施し、停滞水の排水に努めましょう。大豆の根を湿害から守るため、できるだけ速やかな排水対策を行ないましょう。

◎天候に合わせ、**培土**を遅れずに実施しましょう。(雑草対策も！)

◎食葉性害虫やアブラムシ類の発生が心配されます。高温・乾燥で発生が急増した過去の例もありますので、圃場・生育観察で早期発見・被害防止に努めましょう。



《園芸情報》



<薄皮ミニトマトピンキー>

定植後約1ヶ月が経過しましたが、今後の管理のポイントについて簡単に記載します。

○灌水

夏場の灌水は結構多めに、基本的に一度に多量の灌水をせず少量多回数を行うこと。

○追肥

3段目が開花したら追肥を行います。追肥は1段開花ごとに、10a当たり窒素成分で0.5kg～1kgを施します。生育が弱い場合は1段に2回分追肥しましょう。「ピンキー」は実が多くつきはじめると、草勢が急に弱くなります。草勢を落とさないのがポイントです。

○高温対策

ハウスの開口部はできるだけ開放し、気温を下げましょう。

○防除

「ピンキー」も含めたトマト類全体でアザミウマの食害が出ます。ハウスサイドや入口に防虫ネットを張っていても防除は必要です。被害果は売り物になりませんので、発生しないように定期的に防除しましょう。また梅雨どきは葉かび病や灰色かび病が発生しやすい時期です。こちらを併せて行いましょう。

※観察しながら灌水量や追肥を調節しましょう。詳しくはお近くの園芸センター、または指導専門員へお尋ねください。

<ふきのとう>

乾燥・フキノメイガ・アブラムシに気をつけてください

○注目ポイント

「春音」は、高温乾燥は苦手な作物です。管理としては、乾燥が続く場合は灌水が必要。高温乾燥による急激な葉の萎れなどには葉水などが効果的です。フキノメイガやアブラムシなどの害虫の被害が毎年見受けられます。こまめに圃場へ行き発生状況を観察してください。また、生育量が小さい場合は、マルチの穴を広げ粒肥や液肥(500倍)で、積極的に追肥を行いましょう！涼しい今の内が生育量確保のチャンスです。

★登録薬剤名(28年防除基準より抜粋)

薬剤名	倍率	回数	使用時期	対象病害虫
アドマイヤーフロアブル	4000倍	2回以内	収穫45日前まで	アブラムシ類 コナジラミ類
パダンSG水溶剤	1500倍	2回以内	収穫120日前まで	アブラムシ類 フキノメイガ

★次号の発行は7月20日です！

<農薬飛散防止対策について>

残留農薬等のポジティブリスト制度に伴い、粉剤等で防除を実施する場合には、周辺の園芸作物の種類、収穫時期等を事前に把握し、農薬の飛散防止・低減対策を確実に行ないましょう。特に農薬散布時には、風速・風向に注意して下さい。

しっかり育てよう！庄内みどりのつや姫



つや姫情報コーナー



○生育は順調です！生育に合わせた中干しで穂肥のできる稲姿に！

穂肥時期は7月12日前後になりそうです。遅れずに穂肥ができるように準備しましょう。

葉色の濃いつや姫には、適期適量の穂肥施用ができません。茎数が多い・葉色が濃いほ場では、やや強めの中干しを継続しましょう。